



前を向く、医療人づくりを、追求する。

東京医療保健大学

TOKYO HEALTHCARE UNIVERSITY

ニュースリリース

2019年11月19日  
学校法人 青葉学園

## 東京医療保健大学 目黒区共催の公開講座を国立病院機構キャンパスにて開催 『脳卒中で困らないために～「まさか」より「もしや」で受診～』

学校法人 青葉学園が運営する東京医療保健大学(本部：東京都品川区、理事長：田村哲夫、学長：木村哲、以下「本学」)は、目黒区と共催で公開講座『脳卒中で困らないために～「まさか」より「もしや」で受診～』を2019年12月7日(土)に国立病院機構キャンパスにて開催します。

目黒区内に「国立病院機構キャンパス」を開設している東京医療保健大学は、隣接する国立病院機構東京医療センターと密接な連携を図ることで、実践力の高い医療人を育てるとともに、保健医療福祉分野を中心に、地域との取組みを積極的に行っています。

本講座は、血管系疾患の発症が多くなる冬を迎えるにあたり、「脳卒中」をテーマに初期症状から治療等について解説し、本学と診療看護師(以下「NP」)について理解を深めていただくことを目的として開催いたします。

当日は、本学教員の浦中 桂一講師から、海外におけるNPの状況、国立病院機構の病院をはじめ全国で活躍しているNPについて、受けてきた教育内容、活躍の場、役割などの概要を説明いたします。また、国立病院機構 東京医療センターにて診療看護師(JNP※)として活躍する忠 雅之氏から、「脳卒中」に関する内容(原因・症状・治療・予防等)についてお話いただきます。

※JNP(Japanese Nurse Practitioner)：国立病院機構におけるNPの独自呼称です。

本学は、今後も連携病院と協働した社会貢献活動を通じ、地域の発展、課題解決に寄与することにより、地域の皆さまにも貢献できる取組みを展開してまいります。

### ■公開講座の概要

- タイトル : 『脳卒中で困らないために～「まさか」より「もしや」で受診～』
- 日時 : 2019年12月7日(土)10:00~12:00(受付時間9:30)
- 場所 : 東京医療保健大学 国立病院機構キャンパス 東京医療センター敷地内  
(東京都目黒区東が丘2-5-1)
- 登壇者 : 講師① 東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部看護学科  
大学院看護学研究科 講師 浦中 桂一  
講師② 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター  
脳神経外科医 診療看護師(JNP) 忠 雅之氏
- お問い合わせ先 : 東京医療保健大学 公開講座係  
TEL : 03-5421-7655 Email : kikaku@thcu.ac.jp  
受付時間 : 8:30~17:00(土日祝日を除く)

## ■講師情報



東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部看護学科  
大学院看護学研究科 講師 浦中 桂一

修士(看護学)/看護師。専門分野は、総合看護学。研究テーマは、「男性看護師」「診療看護師(NP)の配置による効果」「シミュレーション教育におけるデブリーフィングに関する研究」。現在は主に二次救急外来へのNPの配置に関する研究を進めており、チーム医療を支える高度専門看護職として活躍できる「常に感謝し、謙虚で、自律した」診療看護師育成に取り組んでいる。

## ■診療看護師(NP : Nurse Practitioner)とは

診療看護師(NP)は、日本NP教育大学院協議会(以下、協議会)が認めるNP教育課程(大学院修士課程)を修了し、協議会が実施するNP資格認定試験に合格した者で、保健師助産師看護師法が定める特定行為を実施でき、医学的視点と看護学的視点を持ち合わせた高度実践看護師です。救急患者、周術期患者、ハイリスクな状況にある患者を対象に、医師と連携協働し、「チーム医療」のキーパーソンとして、安全・安心な医療をタイムリーかつ効果的に提供できる能力を期待されています。

### 【東京医療保健大学とは】

理事長	: 田村哲夫
学長	: 木村哲
設立年度	: 2005年
本部	: 東京都品川区東五反田
キャンパス	: 五反田キャンパス、世田谷キャンパス、国立病院機構キャンパス、国立病院機構立川キャンパス、船橋キャンパス、雄湊キャンパス、日赤和歌山医療センターキャンパス(予定)
学部(学科)	: 医療保健学部(看護学科、医療栄養学科、医療情報学科)、東が丘・立川看護学部(看護学科)、千葉看護学部(看護学科)、和歌山看護学部(看護学科)
専攻科	: 助産学専攻科
大学院	: 医療保健学研究科(修士課程8領域、博士課程3領域)、看護学研究科(修士課程4コース、博士課程)
学生数	: 2,539名(2019年5月現在)